

公営企業会計資金不足比率の状況

法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債	負債算入地方債 (退職手当債等)	流動資産	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
水道事業	H21	155,432	0	958,847	803,415	0	803,415	600,889	-
	H20	4,855	0	744,165	739,310	0	739,310	607,820	-
病院事業	H21	1,160,336	921,275	1,256,239	825,372	921,275	0	4,866,022	-
	H20	1,136,431	1,071,100	1,158,691	1,048,840	1,071,100	0	4,918,620	-

法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
簡易水道事業	H21	1,135,542	0	1,145,239	9,697	0	9,697	443,839	-
	H20	1,207,683	0	1,219,980	12,297	0	12,297	452,543	-
集落排水事業	H21	618,779	0	631,105	12,326	0	12,326	87,980	-
	H20	537,074	0	545,266	8,192	0	8,192	85,222	-
公共下水道事業	H21	3,537,594	0	3,592,654	55,060	0	55,060	245,694	-
	H20	3,738,851	0	3,832,963	94,112	0	94,112	207,522	-
浄化槽整備事業	H21	85,145	0	93,968	8,823	0	8,823	17,894	-
	H20	111,083	0	121,491	10,408	0	10,408	15,676	-

法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	土地収入見込額	地方債現在高	長期借入金	小計 = + - +(+ -)	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
工業用地造成事業	H21	586,789	0	589,153	0	1,438,446	0	0	0	0	1,438,446	-
	H20	667,235	0	670,172	0	955,000	0	0	0	0	955,000	-
宅地造成事業	H21	12,179	0	48,021	7,388	0	0	43,230	0	43,230	43,230	-
	H20	12,403	0	60,408	8,798	11,996	0	44,807	0	44,807	56,803	-

用地関係会計において、未売出となっている区画の土地収入額は「0」となる。

用地関係会計の小計は、+ - - がマイナスであれば、地方債現在高、長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)